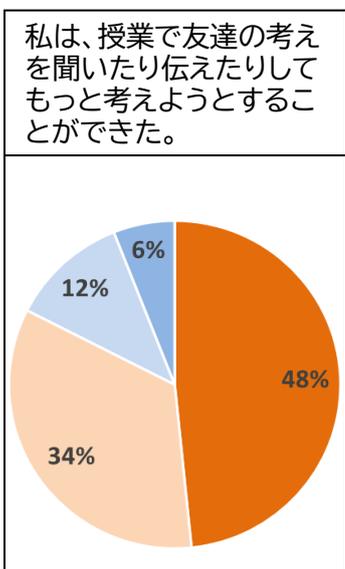
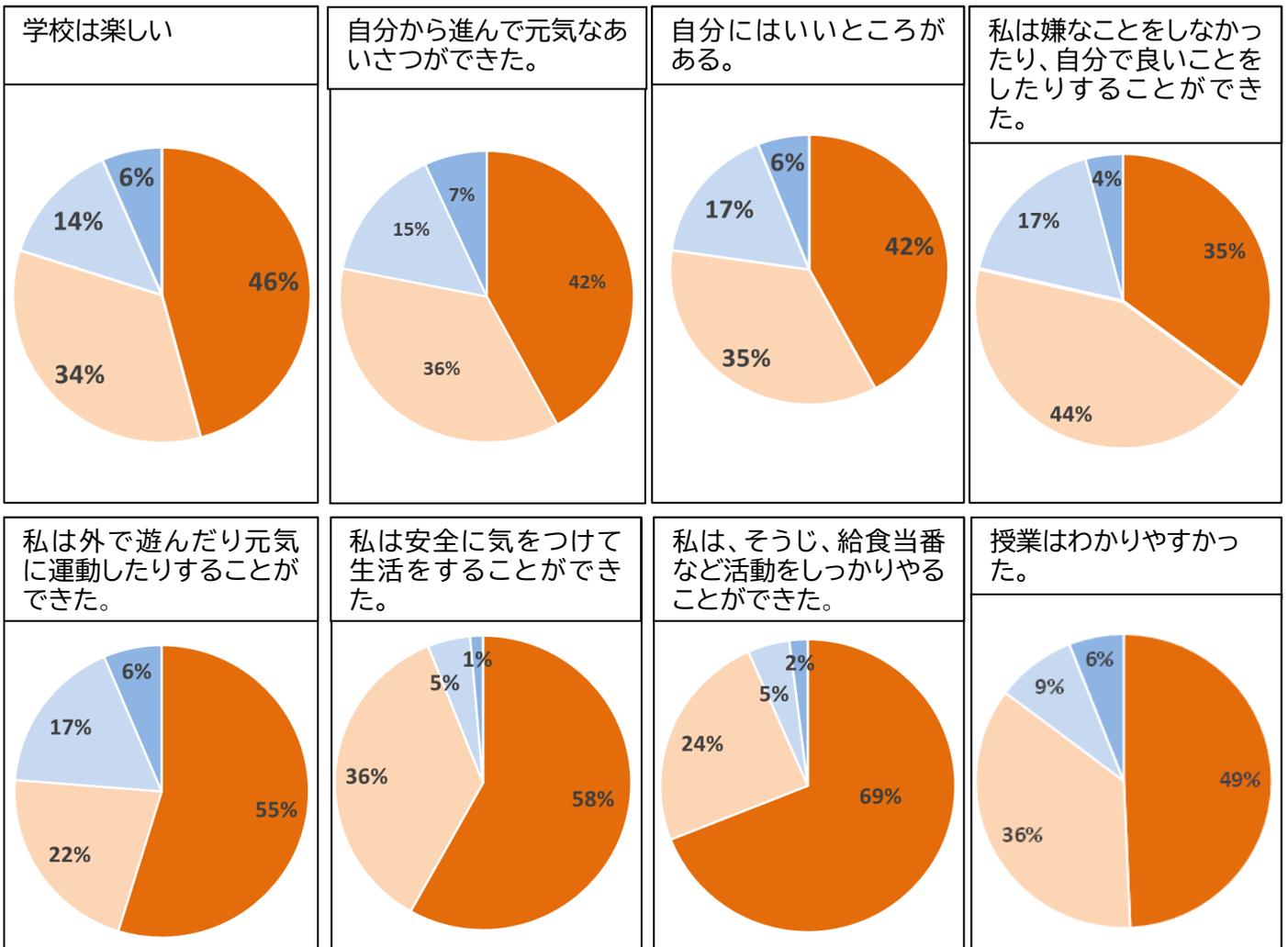


令和7年度本原小学校後期学校評価アンケートについて

2学期に実施した学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。保護者の皆様、児童に実施したアンケート結果は下記のとおりです。

凡例は、そう思う だいたい思う あまり思わない 思わない

児童アンケート



○アンケート結果からの考察と今後の指導

【「学校が楽しい」と感じる心に寄り添って】

「学校が楽しいですか」という設問では、児童・保護者ともに高い肯定率を維持しているものの、前回比では「あまり思わない」「思わない」と回答した児童が6%増加しました。学校ではこの結果を真摯に受け止め、一人ひとりの児童がどのような不安や困り感を抱えているのか、その思いに寄り添いながらきめ細かな支援を行ってまいります。もし、ご家庭でお子様の様子に気になる点がありましたら、いつでもお気軽に学校へご相談ください。

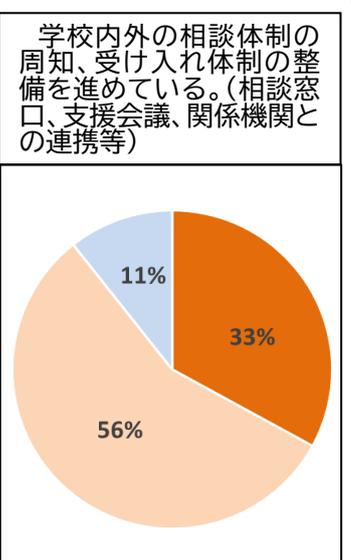
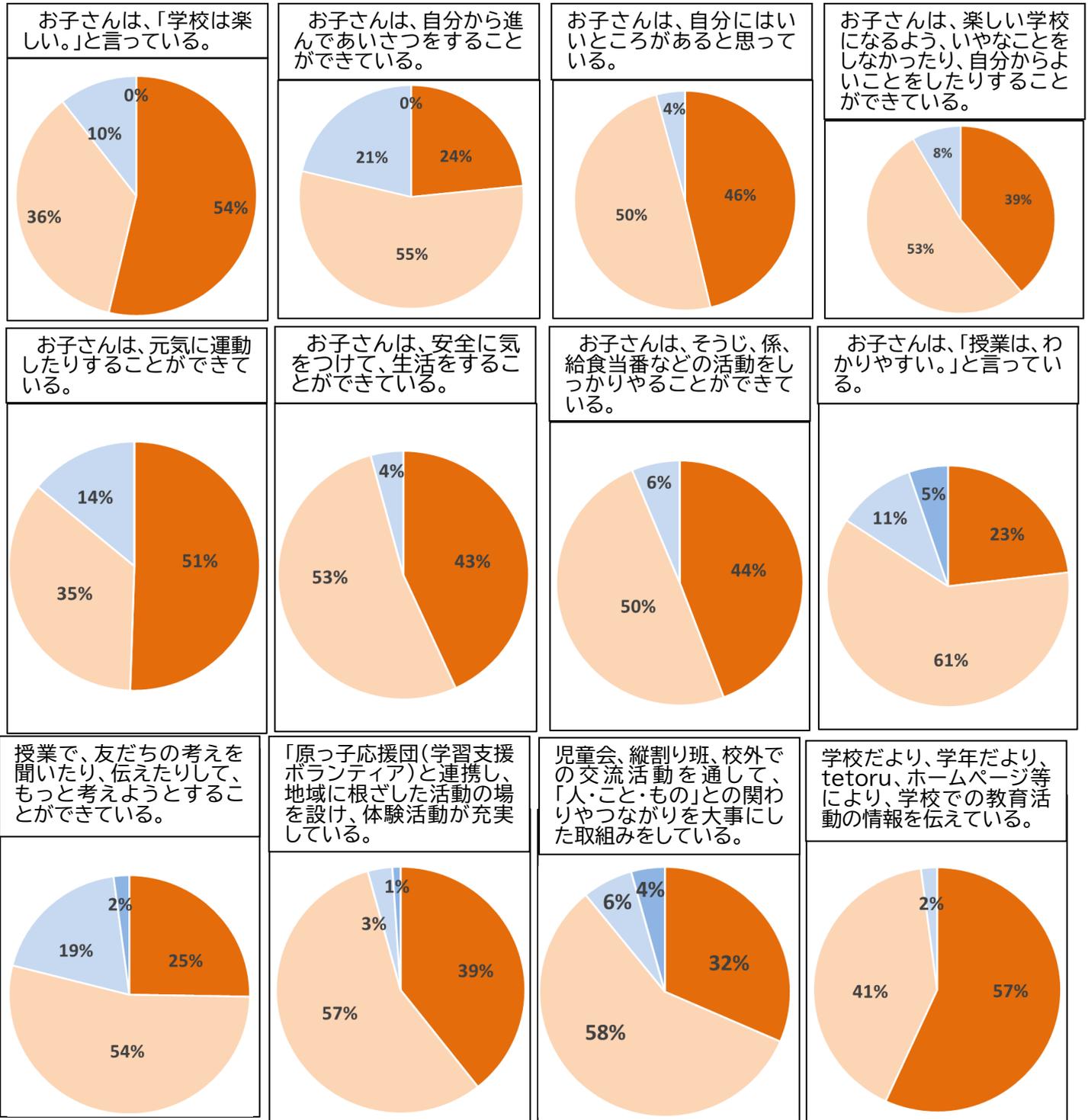
【「わかりやすい授業」と「対話」の充実】

「授業のわかりやすさ」や「友達との対話」に関する項目では、「そう思う」「だいたい思う」という肯定的な回答が高い数値を示しました。これまで職員研修などを通じ、対話を取り入れた学習場面の工夫に努めてきた成果と考えております。今後も、子どもたちが「わかった!」「おもしろい!」と実感できる、対話を通じた深い学びを目指してまいります。

【豊かな心と規範意識の育成】

安全意識や規範意識の高さ、責任感の強さについては、前期に引き続き非常に肯定的な結果となりました。これは子どもたちの素晴らしい強みです。今後もこの土台を大切にしながら、相手の気持ちを尊重し、誰もが心地よく過ごせる集団づくりを指導してまいります。

保護者アンケート



○アンケート結果からの考察

【あいさつについて】
 アンケートの「あいさつ」に関する設問では、前期と比較して「だいたいできている」と回答された保護者が7%増加しました。学校では児童会を中心に「あいさつ当番」を継続し、各学級でも日頃から指導に努めてまいりました。ご家庭におかれましても、ぜひこの機会にあいさつの大切さについてお子様と話題にいただければ幸いです。

【「対話し考える授業」の推進】
 「友達の考えを聞いたり、伝えたりして深めようとする」項目では、前期より「だいたいできている」との回答が6%増加しました。学習習慣の定着とともに、授業内での対話的な学びが増えた成果と考えております。今後も、子ども同士が関わり合い、互いに聞き合い伝え合う「対話し考える授業」を目指して取り組んでまいります。なお、参観日以外でも授業見学を希望される場合は、いつでも学校へご連絡ください。

保護者の皆様からお寄せいただいたご意見に対し、教職員一同、真摯に受け止め、教育目標の具現化と教育活動の充実に向けて取り組んで参ります。今後も保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。